

1年生 地域・在宅看護論実習Ⅰを終えて

1年生 61名は6月20日～24日にかけて、地域・在宅看護論実習Ⅰを行いました。

実習目的である、「地域の人や文化、産業に触れながら地域の現状や問題点を理解する」の達成に向けて地域探索やシルバー人材センターの方々の活動に参加しました。

まずは看護学校近隣でフィールドワークをしました。地域住民の方々へのインタビューから、海山があり自然が豊かで温暖な気候のため住みやすく、長く住んでいる方が多くて近所付き合いがあること等を学びました。一方で、若者が減り高齢者が増えていること、医療施設は充実していても坂の多い住宅地からの通院が難しいこと、地域の行事への参加者が減っていることなど様々な問題があることが分かりました。次に、阿賀市民センターに赴き、まちづくりセンターの役割や阿賀の歴史を学びました。そして、まちづくりセンターで行われている講座に参加させて頂き、これらの活動に参加されている方々の健康維持や生きがいに繋がっていることが分かりました。阿賀の町探索では、日差しが降り注ぐ中、傾斜があり道幅の狭い坂道を歩くのは、とても疲れました。そして、坂道が多く、お店などが近くにない地域で生活するのは不便のように感じられました。しかし、坂道を日々歩くことが足腰の衰えの予防に繋がっていることを地元のみなさんのお話から分かりました。

そして、シルバー人材センターの清掃活動に参加させて頂き、高齢の方々は健康維持や地域貢献をしたいという思いを持たれていることを知りました。活動時に声をかけられることが活力に繋がっていると知り、挨拶をしたりお礼を伝えたりすることの大切さを実感しました。

様々な地域での交流を通じて、地域住民の方々は不便なところがあっても、愛着のある土地での生活をとても大切に思っていることを理解することができました。そして、自分の価値観だけで判断するのではなく、相手の立場にたって考える姿勢をもつことの重要性も学ぶことができました。

実習振り返り会では、地域で生活される方々の思いを尊重し、看護学生として何ができるのかを考えました。地域の特徴や課題に関心を向け、挨拶などから少しでも交流を重ねるなど地域での生活の活力の一部になれるようになりたいです。

今回の実習にご協力くださった皆様に、心より感謝しております。ありがとうございました。

<阿賀の町探索>



<振り返り会>



<シルバー人材センターの方と清掃活動>